

# 入学おめでとう



求名小



中津川小



永野小

# 議会だより

さつま

令和5年  
**73**  
5月11日発行

- 令和5年度各会計当初予算の概要・・・P2～P3
- 条例、補正予算の概要・・・P4
- 常任委員会審査の概要・・・P5～P6
- 一般質問（7人）・・・P7～P14
- 常任委員会、特別委員会委員の改選・・・P15
- 特別委員会、所管事務調査・・・P16～17
- 議会日程、議会活動、編集後記・・・P18

《さつま町ホームページ》

<https://www.satsuma-net.jp>

トップページを下にスクロールし、こちら画面から議会情報をご覧いただけます。



ここをクリック

# 令和5年度当初予算決まる!!

全会計

## 予算総額 219億9,448万円

前年度比 8億664万円減額

定例会の  
あらまし

第1回(3月)定例会は、2月27日から3月24日までの26日間の会期で開かれました。初日は、町長の施政方針表明後、条例の一部改正、令和5年度各会計当初予算など、議案13件などが提案されました。

最終日には、令和4年度各会計の最終補正予算や固定資産評価審査委員会委員の選任など議案11件、議会定数条例の改正などが追加提案され、合計24件の議案を審議した結果、全ての議案が原案のとおり可決されました。

令和5年度当初予算は、総合戦略、町長マニフェスト及び「経済財政運営と改革の基本方針2022」に基づき、経済再生の実現に向けGX・DXなどといった成長分野への大胆な投資を掲げた予算措置がされています。

※GX…グリーントランスフォーメーションの略。デジタル技術を使って、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に進化させること。

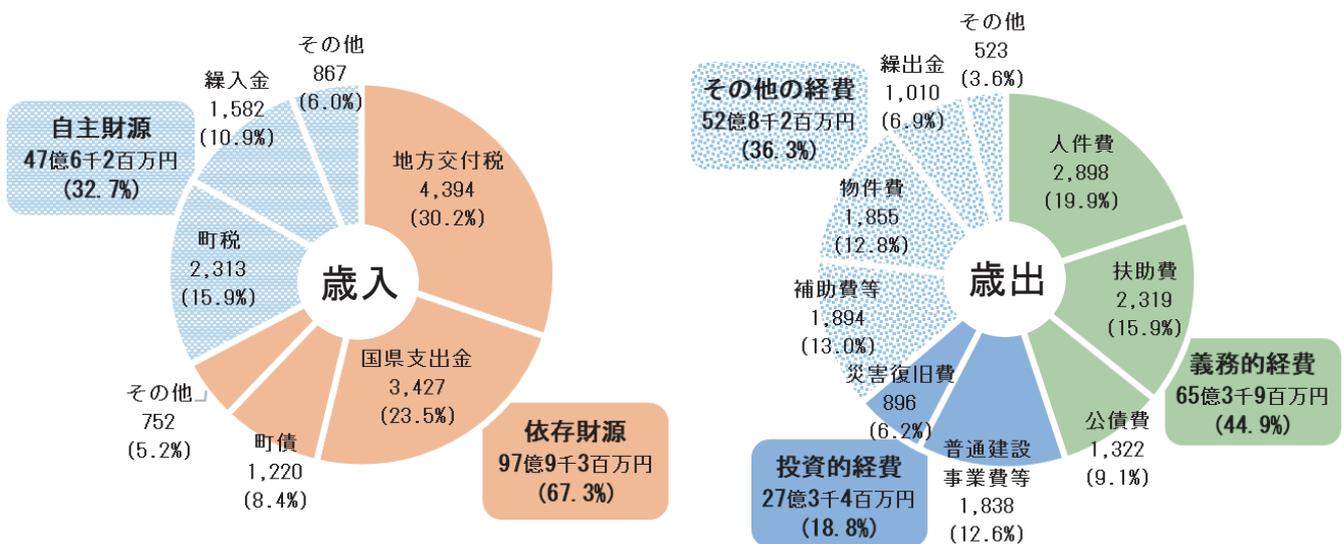
※DX…デジタルトランスフォーメーションの略。地球温暖化による環境破壊を最新技術で解決し、産業発展と両立させること。

## 一般会計予算額 145億5,500万

前年度比 5億9,300万円の減額 (P3 表1)

### 歳入及び歳出の状況 (一般会計)

単位：百万円  
( )内は構成比



※各費目の金額・構成比の合計等は、四捨五入の関係で必ずしも100%にはなりません。

# 令和5年度各会計の当初予算額 (表1)

会計名		令和5年度	令和4年度	増減額
一般会計		145億5,500万円	151億4,800万円	▲ 5億9,300万円
特別会計	国民健康保険事業	28億5,657万円	30億8,558万円	▲ 2億2,901万円
	後期高齢者医療	3億9,107万円	3億8,881万円	225万円
	介護保険事業	34億3,838万円	34億6,895万円	▲ 3,057万円
	農業集落排水事業	1億2,060万円	6,620万円	5,440万円
企業会計	上水道事業	6億3,287万円	6億4,357万円	▲ 1,070万円
合計		219億9,448万円	228億112万円	▲ 8億664万円

※金額は千円単位を四捨五入、▲はマイナス（端数処理のため合計が一致しない場合があります。）

## 情報システム管理費

701万円

マイナンバーカードを活用した「書かない窓口」、「行かない窓口」等の導入経費が計上されています。



行かない窓口（イメージ図）

## 宮之城総合体育館管理費

3億9,003万円

宮之城総合体育館の空調整備やメインアリーナ照明のLED化等の改修工事費等が計上されています。



改修工事を行う宮之城総合体育館

## 教育・保育給付費

8億9,286万円

新たに利用者負担額（保育料）のうち第2子を無償化するための経費等が計上されています。



## 商工振興事業費

8,019万円

令和4年度に好評であったキャッシュレス決済還元事業やプレミアム付き商品券事業補助に係る経費等が計上されています。



## 心の通う福祉の町づくり推進事業

2,428万円

高齢者が安心して健康に暮らすことを目的に、健康保持・移動支援を行うための「高齢者いきいきチケット」の事業費等が計上されています。



## 森林環境譲与税事業費

2,320万円

町内保育所等への木の玩具の贈呈等による木育事業費や再造林等を実施する林業事業体への補助金等が計上されています。



贈呈されるイスと積み木（イメージ）

令和4年度各会計補正予算

一般会計の最終補正予算では、新型コロナウイルスの影響等により保健衛生費、総務管理費、社会福祉費及びその他所要の経費を補正するもので、歳入歳出それぞれ4億3902万円を減額し、予算の総額を165億6806万円とするものです。

特別会計については、農業集落排水事業は農業集落排水施設管理費が増額となり、国民健康保険事業は一般被保険者高額療養費、後期高齢者医療は広域連合への納付金、介護保険事業は介護サービス給付費がそれぞれ減額となっています。

令和4年度各会計の最終予算額

会計名	補正額	予算額	
一般会計(第13号)	▲4億3,902万円	165億6,806万円	
特別会計	国民健康保険事業(第4号)	▲1,989万円	30億6,579万円
	後期高齢者医療(第1号)	▲773万円	3億8,108万円
	介護保険事業(第5号)	▲2億6,729万円	34億6,860万円
	農業集落排水事業(第1号)	330万円	6,950万円
企業会計	93万円	4億2,495万円	
上水道事業(第5号) (支出総額)			

(金額は千円単位を四捨五入、▲はマイナス)

令和5年度一般会計補正予算(第1号)

新型コロナウイルスワクチン接種事業に係る業務委託料などに要する経費として、1億4185万円を追加補正し、総額を146億9685万円としました。

委員会発委

さつま町議会議員定数条例の一部改正について

さつま町議会議員定数の見直しが行われ、次期選挙から現在の定数16人を定数14人に削減となりました。詳しくは17ページをご覧ください。

どう変わった  
我が町の条例

さつま町立学校条例の一部改正について

薩摩地区3小学校を令和6年4月に再編・統合し、新しい小学校を現在の中津川小学校の場所に設置することから、条例の一部を改正するもの。

さつま町国民健康保険条例の一部改正について

健康保険法施行令が一部改正されたことに伴い、本条例の一部を改正するもので、出産に係る経済的負担を軽減するため、出産育児一時金を増額するもの。

人事案件に同意

固定資産評価審査委員会委員

さつま町固定資産評価審査委員会委員の選任が行われました。

- 再任 山口 正展氏
- 新任 久保 浩美氏
- 再任補欠委員 松尾 英行氏

人権擁護委員

人権擁護委員候補者の推薦が行われました。

- 再任 米良 瑞枝氏

非常勤消防団員の年額報酬の見直しに伴い、本条例の一部を改正するもの。

改正後の消防団員報酬額一覧

役職	年間報酬額
団長	191,000円
副団長	129,000円
方面隊長	107,000円
分団長	95,000円
副分団長	70,000円
部長	52,000円
班長	48,000円
団員	45,000円

委員会に付託された議案を全て可決

委員長 上園一行  
副委員長 中村慎一  
委員 平山俊郎  
委員 岸良光  
委員 森山 大  
委員 新改秀  
委員 有川美子

総務厚生  
常任委員会

委員会で付託された条例改正4件、令和5年度一般会計（関係分）及び特別会計予算4件が審議されました。委員会審査の中で出された主な質疑、意見などを掲載しています。



可燃ごみ袋の混入



靴の混入

↑ 生ごみに混入した異物 ↓ 堆肥化された生ごみ



委員会による現地調査

令和5年度一般会計  
予算（関係分）

さつま町消防団員の定員、任免、給与、服務に関する条例の一部改正について

問 改正後の団員報酬は県内の他市町村と比べどのような状況か

答 団員報酬額は高い方から県内で17番目、町村では6番目の金額となる。町村の平均報酬額は4万858円であり、さつま町は今回の改正により町村平均より4142円高くなる。

問 乗合タクシーの運行計画の見直しは。また、乗り換えのしやすい路線の設定はできないか

答 乗合タクシーの運行形態は路線を含めこれまでと同様のものを計画している。乗り換えがない路線運行についても委託事業者と協議したが、運転手の高齢化や確保が難しいことも影響しており、現在の路線維持としたい。

問 高齢者いきいきチケットの事業開始はいつ頃を予定しているか

答 本事業は令和5年度からの新規事業で、準備期間が必要であるため7月頃からの申請開始を予定しており、使用期限は令和6年3月末までである。

問 生ごみの回収量が減ってきているように見えるが、可燃ごみが増加しているのか

答 生ごみの回収量は減ってきているが、可燃ごみの回収量も減ってきている。これは人口減少によるものが大きいと考えている。

要請

町としても生ごみリサイクルの流れや、生ごみの回収状況を写真付きで周知するなど、ゴミ出しルールの更なる啓発を図っていただきたい。

問 消防本部の女性職員の現状は。また、仮眠室等は設置がされているか

答 さつま町消防本部では、令和5年4月に2名の女性職員を採用予定である。採用後すぐに消防学校に入校し、卒業後は男性職員と同様の業務・勤務体制となる。女性職員用の仮眠室やシャワー室は整備済みであり、洗濯機及び洗濯室は、令和5年度に整備予定である。

問 介護保険施設の人材確保に対して支援を行う考えはないか

答 介護保険施設では長引くコロナ禍の影響による業績悪化や人材不足によりサービスが提供できない現状を把握している。次期介護保険計画の策定の中で具体的な意見を伺いながら支援策を協議したい。

問 現在の国民健康保険税で事業を維持できるのか

答 今期までは現在の保険税額で問題はないと考えているが、コロナ禍による受診控えの影響もあつたと考えられ、これから受診が増加し、診療報酬も増加する可能性もある。療養給付費が不足する場合、基金の取り崩しも考えていくことになるが、場合によっては保険税額の見直しも考えていかなければならない。



新たに整備された女性用仮眠室とシャワー室

委員会に付託された議案を全て可決

委員長	新改幸一
副委員長	上久保澄雄
委員	橋之口富雄
委員	上別府ユキ
委員	平八重光輝
委員	古田昌也
委員	川口憲男
委員	柏木幸平

文教経済  
常任委員会

委員会で付託された条例改正1件、令和5年度一般会計予算（関係分）、企業会計予算が審議されました。委員会審査の中で出された主な質疑、意見などを掲載しています。

さつま町立学校条例の一部改正について

問 新しい学校名や校歌などはいくつ頃決定していく計画か

答 学校名については地域住民から募集し、再編準備委員会での審議を経て、6月中旬に決定したい。校歌、校章については子どもたちの意見を取り入れながら、1年かけて作成していきたい。

令和5年度一般会計予算（関係分）

問 さつま町産業祭&JA農業祭の補助金の内容は

答 補助金は前年度と比較し100万円増額となっている。令和5年度に宮之城総合体育館の改修工事が予定されているため、野外特設ステージの設置費用が増加している。他には、牛肉の販売、米の食味コンテストに対する補助も見込んでいる。

燃ゆる感動 かがしま国体  
特別国民体育大会 熱い鼓動 風は南から 2023



令和2年に本町で開催されたりハーサル大会

問 プレミアム付き商品券をデジタル商品券として発行する考えはないか

答 デジタル商品券については部分的な発行を考えているが、発行割合については慎重に検討したい。

問 宮之城総合体育館の改修時期と使用料の見直しは

答 令和6年3月までに工事を完了する予定である。空調関係の使用料については、令和5年度中に見直しを行う予定である。

問 中学校通学バスを学校まで直接運行する計画はないか

答 町のコミュニティバスの中で通学優先バスが運行されていることから、中学校にバス停を設置するなどの必要もあるが、現状では難しいと考えている。将来的には、スクールバスも含めて総体的に検討していきたい。

問 規模の大きい企業の誘致についてどのように考えているか

答 大きな企業の誘致となれば敷地面積も広くなることから、学校跡地等を活用した誘致活動に努めるとともに、社員用住宅の建設などについても協議し、雇用の確保と定住促進に努めていきたい。

問 かがしま国体が10月に開催される。町全体で大会ムードを盛り上げる必要があると思うか

答 3年の大会延期やコロナ禍の影響もあり県全体で盛り上がりが出ていないと感じる。10月開催ということで、広報車でのPR活動、SNSでの情報発信、学校の体育行事でのタグラグビーの実施、ラグビー合宿の誘致など積極的なPR活動に取り組んでいきたい。

令和5年度上水道事業会計予算

問 老朽化した水道管の修繕工事はどの程度行っていく予定か

答 相当な年数が経過して老朽化が進んでいる水道管も多いが、漏水を繰り返している箇所から計画的に修繕していきたい。

# 一般質問

# 町政を問う



## 一般質問とは…

各議員が住民の代表として、町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、町当局の考え方や疑問をたずねることで、

単に疑問を解消し、事実関係を明らかにするだけではなく、現行政策の提言をする議員の重要な活動です。

本町議会の質問時間は、質問と町長等の答弁をあわせて1人60分以内となっており、3月定例会では7人の議員が一般質問を行いました。

### 岸良 光廣 (8ページ)

- ・行政改革について

### 古田 昌也 (9ページ)

- ・中津川、求名、永野小学校の統合問題について
- ・これからの事業者支援について
- ・国道504号の在り方について

### 新改 幸一 (10ページ)

- ・合併20周年に向けた各種記念行事やイベントについて

### 川口 憲男 (11ページ)

- ・持続可能なまちづくりは

### 上別府 ユキ (12ページ)

- ・放課後児童健全育成事業について

### 中村 慎一 (13ページ)

- ・さつま町の農業振興の方策は
- ・町政の振興方策として新しい文化の創造を

### 有川 美子 (14ページ)

- ・子育て支援の成果と拡充について
- ・行財政改革について
- ・8050問題について

その他1件

一般質問関係の記事は、各議員から提出された原稿を基に、質問議員の責任において掲載しています。

#### 一般質問1日目の動画配信

岸良 光廣  
古田 昌也  
新改 幸一  
川口 憲男  
上別府 ユキ



#### 一般質問2日目の動画配信

有川 美子  
中村 慎一



行政改革

薩摩中央高校の今後

町長／生徒確保の充実を行う



岸良 光廣 議員

**問** 薩摩中央高校ウエイトリフティング部への寄附は、先生やマエゾノスポーツ、谷口商店の3者の協力で実現した。4月からは女子バレーボール部の先生が自分で勧誘され、離島を含む12名が入学予定である。今後、募集をする予定である。

**答** 民間企業の協力はあるがたい。また、女子バレーボール部の活動についても、町として何ができるかコーディネートを通して、学校の先生方の話を聞き対応を行いたい。



ウエイトリフティング部



女子バレー部



出生率の対策は

町長／出生数を上げたい

**問** さつま町は毎年約550人前後の人口減少で、10年後1万3千人台が予想される。新生児も令和4年で73人しか生まれていない。岡山県奈義町は出生率2.95である。子育て世代に対する補助金の増額政策の見直しが必要。

**答** 岡山県奈義町の事は私も知っています。奈義町は町としてコンパクトでやりやすいのだと思いますが、さつま町としても参考になる事がありますので今後考えてみたい。

箱物等の見直しを

町長／重点配分を行う

**問** 文化センターの建て替えをやめ補修工事を行い、残った基金で子育て世帯への補助金増額を考えては。また、今各基金があるときに将来残す建物と処分する建物を選別するために、町長直轄の部署を作り進めては。

**答** 今、すでに個別の施設計画を定めており、計画の期間が長すぎると思う部分もある。施設の在り方については再度見直しをする必要がある。専門部署については組織の見直しも含め、意見や政策推進ができる部署も必要ではないかと考え、職員配置も考慮し進めていきたい。



古田 昌也 議員

学校再編

薩摩地区小学校の統合は

教育長／スピード感と計画性を

※その他の質問  
・ウィズコロナに向けたこれからの事業者支援について

**問** 令和6年4月には、中津川、求名、永野小学校が統合する予定だが、スケジュール的に見て本当に間に合うのか。また、児童保護者、地域に対して十分な説明ができているのか。

**答** 薩摩地区3小学校の再編は1年という短期間での準備、作業となる。スピード感を持ち計画的かつ慎重に進めていく。また昨年の5月から薩摩地区3小学校の情報交換会を毎月開催し、子どもの教育環境の充実や保護者、地域の方々の想いを十分尊重しながら取り組んでいる。

地区唯一の小学校に

教育長／意味を重く受け止める

**問** 再編すれば薩摩地区唯一の小学校になる意味を重く受け止めて、次世代に繋がる様な議論はしているのか。また、学校生活の変化も生まれ子ども達の心情の変化へも大きな影響があると思うが、それに対するケアなどを含めた話し合いなどはできているのか。

**答** 今回は旧薩摩町に学校を残したいという想いの詰まった再編である。その想いを十分に認識し、次世代に繋がる持続可能な学校運営や小中一貫校などの議論も、再度行っていきたいと考える。また、子ども達が環境の変化で戸惑いが無いように細やかな準備をしていく。

求名小学校



中津川小学校



永野小学校



問

高規格道路（北薩横断道路）が完成したその後、観光業、商業など本町全体としてのまちづくり、町の在り方が大きく変化すると考えるが、どう考えているか。また、「道の駅」など、町の拠点施設作りと合わせて公的機能の集約は考えていないか。

答

道の駅に観光案内やアンテナショップ、情報発信の機能等を併せ持つ施設の整備方針を示している。計画策定後、10年近くが経過し、北薩横断道路の整備計画の内容見直しや社会情勢等も変化していることから、これらを踏まえて再検討していく。

整備検討

町長／  
将来、町の起点に

北薩横断道路の在り方は



令和6年度中の開通を目指し工事の進む、北薩横断道路「佐志IC」

記念事業

合併20周年イベントは

町長／企画立案し、実施したい



新改 幸一 議員

問

わが町は、2年後に3町合併20周年を迎える。移住・定住を推進する中で、全国にさつま町をアピールする一考として、NHKのど自慢を開催できるよう町長のトップセールで努力する考えはないか。

答

新町誕生後の記念事業については、5年毎に記念式典や様々なイベントを開催してきた。NHKのど自慢開催の提案について、これからNHK鹿児島放送局を通じての申請となる。例年県内1箇所のみで開催という事で、ハードルも高いが、開催に向けて検討したい。

ふるさとに夢と希望を  
町長／準備委員会で検討する

問

昨年11月に第1回さつま町産業祭&JA農業祭が盛大に開催された。予算を含め、問題・課題はあると思うが、ふるさとに夢と希望を持つていただけの明るい笑いを町民に提供できるように、お笑いイベントを計画する考えはないか。

答

20周年におけるイベントの実施、内容については令和5年度中に準備委員会等で検討したい。本町出身のお笑い芸人の方の活躍も耳にしており、出演依頼も含めて検討する。記念事業の開催だけでなく、次世代へ元気なさつま町を継承する契機としたい。



第1回さつま町産業祭&JA農業祭（令和4年）

令和5年第2回(6月)定例会は6月5日開会予定です。

6月定例会予定 議運…議会運営委員会、全協…全員協議会

日	月	火	水	木	金	土
5/28	5/29 議運	5/30 全協	5/31	6/1	2	3
4	5 本会議 (開会日)	6	7 本会議 (一般質問)	8 本会議 (一般質問)	9 本会議 常任委員会	10
11	12 常任委員会	13 常任委員会	14	15	16	17
18	19	20	21 議運 全協	22	23 本会議 (閉会日)	24

日程は変更になることがあります。  
詳しくは議会事務局（53-1111）にお問い合わせください。

○日程等は、防災行政無線放送や町ホームページで事前にお知らせいたします。

○鶴田支所、薩摩支所のロビーに設置してあるテレビやインターネット（YouTube）で、本会議の中継を視聴することができます。



QRコードを読み取るとライブ中継画面のページが表示されます。



川口 憲男 議員

SDGs

## 持続可能な町づくりは

### 町長／普及啓発の推進を



役場本庁舎に掲げるSDGsに関する懸垂幕

**問** 美しい町づくりの推進は17目標があるが、全てを取り組む考えか、限定した目標があるのか、美しい町づくり・ゴミのない町などやれることは多い。目標を定めて、町民一体の取り組みこと・お互いの連携が大事では。

**答** 現時点では個別に取組む具体的な目標は定めていない。町民、事業者等への理解促進を図るため、広報紙において個人や企業・団体等の取組紹介や学校・高齢者サロン等への出前講座、標語コンテスト実施などを通じて、子どもから老年寄りまで幅広い世代への普及啓発に力を入れて推進していく。

**問** 誰一人取り残さない持続可能な取組だが、地域コミュニティ活性化への道筋に繋がるかと考えるが、美しいまちづくりには、一人ひとりの努力・協力も必要に感じる。町づくりは人づくりとも言われるが、町全体で取り組む考えは。

**答** 本町の現状・課題を整理し、取組みの推進は関係者間の連携が不可欠。小・中学生や高校生など若い方を中心にしたワークショップの開催を計画し、若者の視点・アイデアから、町民・地域・事業所・学校など共通理解のもと、可能な取組をかかげ、数値目標を掲げて推進を検討していく。

**問** 70%以上の山林を有するわが町には森林の果たす役割は大きい。地域周辺の町道の清掃、身近な野山・田畑等を少しでもきれいな地域づくりに「持続可能な未来づくりCO<sub>2</sub>削減の町」の実現の考えはないか。

**答** カーボンニュートラル宣言において、「豊かな森林環境の保全」を推進施策としている。「さつま町環境美化条例」の中で、美しい自然と快適な生活環境の確保に努めることを責務と定めており、衛生自治団体連合会や環境美化推進員の協力をいただきながら、きれいなまちづくりを推進していきたい。

脱炭素へ  
町長／  
未来に繋ぐ森作りを  
CO<sub>2</sub>削減の取り組みは



地域での清掃活動の様子（あながわ公民会）

運営指針

再編後の学童クラブは

町長／保護者に説明後決定



上別府 ユキ 議員

**問** 薩摩地区3小学校再編に伴い、現在ある3つの放課後学童クラブを令和6年度どのように運営するの方向性を問う。

**答** 薩摩地区3小学校再編に伴う放課後学童クラブ運営の方向性については、子ども達が安全に過ごせる場所や支援員の確保、子ども達の学童クラブまでの移動の安全等を検討し、保護者に説明した上で決定する。



令和5年度も継続する「こすもす少年学童クラブ」

求名地区学童クラブは  
町長／令和5年度は継続

**問** 求名地区の錦光保育園こすもす少年クラブの今後の動向についてはどうなっているか。

**答** 求名の学童クラブを受託しているこども園は令和4年度末で休園される。休園を申し出された時点で、学童クラブの継続を確定し、令和5年度の募集を終えて、11人の利用で決定している。

意向調査

学童クラブの新設は

町長／  
子育て中の方々と協議



**問** 町内8小学校区のうち放課後学童クラブのない地区がある。今後開設する考えはないか。

**答** 平成28年から3学童クラブをPTAや地域の要望で新設した。場所や支援員の確保、利用希望者の把握等の協力をいただいた。開設の希望がある場合は、保護者や地域の意向を聞き、特に子育て中の方々と直接話し合いの場を設け、しっかり協議する。



中村 慎一 議員



振興対策

農業振興の方策は

町長／独自の支援策で

問

農業・肥料・飼料等の高騰や資材不足、下落する米価・低迷する畜産価格など、収益悪化による影響は大きく、高齢化も含めて離農等が懸念される。米作地帯の町の農業の現状を把握されているか、農業振興の具体的な道筋を問う。

答

コロナ禍の物流混乱、ウクライナ侵攻、円安に起因して資材等の価格が高騰。また農畜産物の消費減退、在庫過多による価格の下落や低迷が続く、交付金を活用した支援策を進めた。今後も必要な独自の支援策を講じたい。

ファーマーズ会議を町長／形を変えて進める

問

町の農業振興策について、実態に即した白書行政を推進し、農業者によるファーマーズ会議を興し、農家の視点から振興策を探り、農業者相互を繋ぎ、先進的な取組や、また若い世代の農業者育成を図るべき。農業政策を問う。

答

第4次農林業いきいきプランを定め、生産農家の現状や意見等を反映してきたと思う。認定農業者会等の団体で交流や情報交換等、活動されているが、従来の会議等の形を変えて、若い農業者を加え取組を進めたい。

築50年文化センターは

町長／本年中に方向付け

文化振興

問

宮之城文化センターは今年築50年の節目を迎える。検討を進めている改築等の方向性は。

答

各分野の関係者による文化施設整備委員会を設置、建替えか大規模改修か、費用算定、アンケート等により本年中に方向性を示したい。

問

人口減少、過疎高齢化が進む本町の振興策について、美術館を含め、図書館、文化ホール等を長期的に計画し、新しい文化を興し、町民の芸術文化の振興による町政発展の推進を図れ。「私の作品をふるさとに」と遺された東氏の意思を大事にされよ。

答

現在、絵画等の常設展示や多機能空間などの施設内容を検討している。3つの図書館の一本化、図書館への集約は難しい。新たな施設は費用面から現有施設を活用したい。東氏の作品寄贈についてはご遺族と協議を進める。

新しい文化の創造を町長／現有施設を活用



建替え・改修の検討を行う宮之城文化センターホール

子育て支援

2歳児保育料を無料に

町長／第2子無料化を実施



有川 美子 議員

**問** 子育て支援の成果と拡充について

一、0歳児から2歳児の保育料を国の施策に上乗せする形で助成を増やしているが、その成果は。  
二、保護者の収入等の条件をなくし、2歳児はすべて保育料を無料にする考えはないか。

**答**

一、出生数は増加していないが、令和4年度の教育・保育施設の新規入所数や入所理由から、女性の社会参画や育てやすい環境作りとしての成果はあったと考えている。  
二、施政方針にもあるように、現在の国の施策と併せて7割軽減としている第2子の保育料を、令和5年度より無料としたい。



施政方針

施設整備予算の概要は

町長／改修新築両面で積算中

**問**

施政方針で宮之城文化センターの施設整備について、本年中に整備の方向性を示したいと表明された。文化施設を建替えあるいは改修する場合の予算の概算はどうか。また、維持管理費についての考えは。

**答**

方向性を判断する材料のひとつとして、宮之城文化センターホール及び本館を大規模改修した場合と同規模の施設を新築した場合の両面で現在費用を積算中である。また、年間の維持管理費も含め議論していかねければならないと考えている。

複合施設の検討を

町長／総合的な判断が必要

**問**

文化施設単体ではなく、複合施設化を検討しないのか。(子育て中の保護者からは、生まれたての赤ちゃんから子ども達を遊ばせる場所として、全天候型の施設を望む声が多くある。)

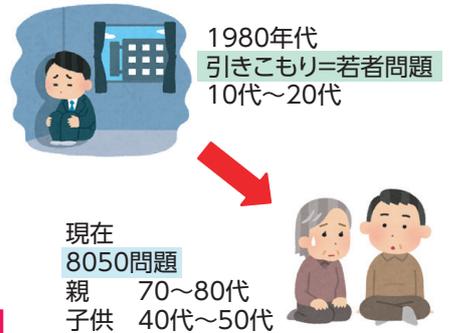
**答**

複合施設化については、部内での文化施設建設検討委員会等でも協議をしてきたが、現施設の大規模改修を含めた検討も必要であるとしたところだ。

民間団体等と連携を

町長／今後検討していく

8050問題



8050問題  
80代の親が、自宅に引きこもる50代の子どもを生活を支え、経済的にも精神的にも行き詰ってしまう状態のこと。

**問**

本町における8050問題の実態は。併せて休日や夜間のSOSに対しての対応はどうか。また、NPO等の民間団体との連携はなされているのか。

**答**

該当すると思われるケースの相談内容は近年複雑化しており、令和4年8月実施した県の「ひきもこりに関する実態調査」では15歳〜64歳の引きこもり20数名中、数名が該当するようだ。休日や夜間における緊急時には、担当課、地域包括支援センター及びさつま警察署等関係機関と連携を図り対応している。

※その他の質問  
子どもの自殺予防とスクールソーシャルワーカーについて

# 常任委員会・議会運営委員会・ 議会広報特別委員会を改選

常任委員会は2年で改選することとなり、これに伴い、議会運営委員会と議会広報特別委員会も改選されます。各委員の任期は令和5年5月1日から令和7年4月23日までとなります。

## 総務厚生常任委員会

町の政策や税金、福祉、  
消防、環境などに関する  
こと

委員長 古田 昌也  
副委員長 橋之口 富雄  
委員 新改 幸一  
委員 上別府 ユキ  
委員 平八重 光輝  
委員 上久保 澄雄  
委員 川口 憲男  
委員 柏木 幸平



## 文教経済常任委員会

農林業や商工業、道路、  
水道、教育などに関する  
こと

委員長 上園 一行  
副委員長 有川 美子  
委員 平山 俊郎  
委員 中村 慎一  
委員 森山 大  
委員 新改 秀作  
委員 岸良 光廣



## 議会運営委員会

議会の運営に関すること

委員長 森山 大  
副委員長 上別府 ユキ  
委員 上園 一行  
委員 古田 昌也  
委員 柏木 幸平



## 議会広報特別委員会

議会広報紙の発刊に関す  
ること

委員長 有川 美子  
副委員長 平山 俊郎  
委員 橋之口 富雄  
委員 上別府 ユキ



## 出前講座を開催しませんか？

町議会のしくみ議員活動等について、理解を深めていただく講座です。公民会やサロン、学校等で開催可能です。

議会事務局に日程を確認の上、実施予定日の20日前までに議会事務局（53-1111 内線2311）へお申し込みください。

## 議員報酬を引き続き、審議

これまでも議論を重ねてきましたが結論を急がず、議会モニター制度の運用に合わせて、様々な意見をいただきながら引き続き審議を行うこととしました。

## 自由討議を実施

議会の活性化に関する意見交換を目的に、8人の議員から提案のあった25項目のうち11項目にわたり自由討議を実施しました。残り14項目についても引き続き議論を行っていきます。



参考人からの意見聴取（令和4年11月）

## 議会モニター制度の運用を開始

### 1. 「議会モニター制度」とは？

議会の運営等に関し、町民からの要望、提言その他の意見を広く聴取し、議会の運営に反映させることを目的とするものです。

### 2. どんなことをするの？

主な活動は、定例会や委員会等において積極的に議会の傍聴もしくはライブ中継を視聴いただくほか、さつま町議会だよりやホームページをご覧いただき、その中で感じた議会運営全般に対する意見等について、モニター会議やアンケートで回答をしていただきます。

### 3. 応募資格や募集人数、任期はいつまで？

18歳以上の町民の方で議会運営に興味のある方。人数は10人以内で、任期は委嘱の日から1年で、再任できます。

### 4. 提出された提言等は？

議会の特別委員会等で検討し、結果は議会だよりやホームページで公表します。

※今年度の議会モニターの募集は終了していますが、来年度以降も継続して実施していく予定です。

## ICT端末を活用した学習

佐志小学校で北薩地区小中学校研究公開授業に併せ、タブレット端末を使用した授業が行われていました。4年生は社会の授業で歴史的に有名な場所をインターネットで検索する授業内容で、他の学年も含めタブレットの機能を活用した授業内容になっていました。

自分専用のタブレット端末で実際に操作・体験することにより、学習への理解も深まっているのではと思ったところです。



タブレットを活用した学習の様子（佐志小学校）

# 議会活性化調査特別委員会が中間報告

議会活性化調査特別委員会は令和3年6月に設置され、これまでに21回の委員会を開催しました。これまでの調査及び審査の経過と結果を報告します。

## 次期選挙の議員定数が「16人」から「14人」へ

これまで実施してきた区公民館長と議員との意見交換会、議員への個別調査、町民アンケート及び参考人からの意見聴取等を行い、議会活性化調査特別委員会でこれまで議論を重ねてきました。これらを踏まえ、議員定数の適正数について意見を出し合った結果、現行の「16人」、削減の「14人」、「13人」と「12人」の4つに意見が分れたことから委員長を除く14人で記名投票を行いました。

投票の結果、「14人」が適当であるとの結論に至りました。

アンケート調査や参考人聴取で寄せられた議員定数に関する意見（抜粋）

○町の人口も減少しているので、それにあわせ議員定数の見直しも必要ではないかと思う。

○削減すると人口の少ない集落の意見が議会に反映されなくなる。

○過去の選挙では無投票となったこともあるので、誰でもなりたいた人がなれてしまうと思っています。定数を削減し、しっかり選挙を行い、町民に選ばれた意識を持って議会活動を行ってほしい。

○議会が活性化し町のためになるのであれば16人以上でも良い。



町民アンケートの結果

※掲載順は議席番号順となっています。

●12人（3人）  
上園一行議員  
古田昌也議員  
岸良光廣議員

●13人（1人）  
中村慎一議員

●14人（9人）  
新改幸一議員  
平山俊郎議員  
上別府ユキ議員  
森山大議員  
平八重光輝議員  
有川美子議員  
上久保澄雄議員  
川口憲男議員  
柏木幸平議員

●16人（1人）  
橋之口富雄議員

議員定数の投票結果

# 文教経済常任委員会が所管事務調査

令和5年2月9日に町内2校の小学校への現地調査を行いました。

## 柏原小学校 大規模改造工事

冬休み期間中に旧流水小学校からの引越しを終え、3学期から柏原小学校で授業を再開しています。

外観はもとより、内装も大きく改修しており、教室の床はヒノキで張り直し、廊下にある手洗い場は、低学年の児童が使いやすいように低くしてありました。また、照明器具を全てLEDにするなど、明るく活気のある校舎という印象を受けました。

新しい校舎に、児童は大変満足そうであり、勉強への意欲がより一層増していくのではないかと感じたところです。



改修された柏原小学校の外観と教室

## 宮之協議長が表彰



令和5年2月8日、町村議会議員として議会の運営及び地域の振興発展に顕著な功労のあった者として、全国町村議会議長会から表彰が行われ、さつま町議会による表彰の伝達が行われました。

## 議 会 活 動



防災研修会（4月27日）



### 《表紙紹介》

令和6年3月末で閉校となる薩摩地区3小学校の入学式の様子です。教職員や保護者、地域の方々そして多くの花に囲まれながら、少し緊張した表情を見せた児童もいましたが、学校で多くのことを学び、元気に成長していただきたいと思います。

## 編集後記



少しでも読みやすい誌面を目指し、編集作業では熱く議論を

交わしました。

ありがとうございました。

（副委員長 有川美子）



委員長を始めとして、議員各位、事務局担当者の方々のご協

力をいただき、議会だよりの編集がスムーズに出来た事を感じて、次に繋げたいと思います。

（委員 古田昌也）



4月に入って少し寒々として、いや年のせいか？さて2年間読

みやすく努めてきました。感覚を大事に、大分変えたように思いますが、まだまだ時間と手間をかけて親しみやすいものと感じます。

（委員 中村慎一）



今回の広報をもちまして私も広報委員の2年間の務めを終

えることになりました。今後ともこれまで同様ご愛読いただきますようお願いいたします。

（委員長 上久保澄雄）